

平成30年度 小林市立東方中学校 自己評価及び学校関係者評価書

4段階評価（4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する）

学校経営 ビジョン	○ 小中一貫教育を充実させ、学力向上を目指した授業改善、豊かな心の育成を目指した教育活動の推進、学校・家庭・地域がそれぞれの教育的機能を発揮し、相互に学び合える環境を確立する。～新たな可能性を創造し、自らの夢の実現を可能とする教育「自己実現」「他者理解」「役割達成」を通して誰にも真似できないナンバーワン・オンリーワンを目指そう！～
----------------------	--

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	数値目標	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価		関係者 評価	学校関係者評価のコメント	
				項目	総合			
知育	学力の向上	1 指導力向上を図る研究授業の実施 ※ 一人1回の研究授業実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種テストへの積極的対応（全国・県平均以上、各種検定合格率70%） ○ 分かりやすい授業の項目90% ○ 一人一研究授業を実施し、授業公開に繋げる。 ○ ICT授業公開に向けて、一人1研修会への出席 ○ 読書推進による語彙力の強化（火、木昼休みの読書の日、言語トレーニングの実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 12月にICT授業公開を実施し市内外から120名の参加があった。その公開に向けて、一人1研究授業を行うなど、全職員一丸となった対応ができた。指導方法の改善等に向けて活発な協議ができ、充実したものとなった。 ○ NRTをみると、全学年で全国、県平均を上回ることができた。できなかった。3年生は地区の実力テストで常に西諸No1の位置にある。 ○ 「授業が分かりやすい」の生徒評価は96%の支持を得ている。きめ細やかな個別指導が効果を上げている。 ○ 保護者の「家庭学習に関する評価」は、81%が良い評価であるが、家庭学習が定着していない生徒もいるので保護者との連携が必要である。 ○ 読書活動に関しては、国語科と図書協力員のはたらきで充実した読書活動ができるようになっている。しかしながら家庭における読書活動の推進が課題である。 	4.0	3.5	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かりやすい授業の指示96%素晴らしいと思う。 ○ 全教科について学校と生徒が一体となって取り組んでおり向上心が見られ、目標達成ができていていると思う。 ○ ICT授業公開は、多くの先生方がおいでになり、盛大に開催され非常に良かった。 ○ 学力テストの結果が良いのは、先生方と生徒たちがよくまとまっている結果と思う。小規模校だけどころし支援学校もあり恵まれていると思います。 ○ 読書に対する熱意が昨年より上がっている事は大変良い。伸び盛りの今色々な本を読み知識を身につけて欲しい。 ○ 読書して感じたことを発表する時間もあつたらよい。 ○ 読書活動については、家庭での重要性を家族で話し合っていたきたい。
		2 ICTを活用した指導方法の改善 ※ 計画的、効果的な授業での活用						
		3 各種学力テスト結果の分析と学力向上対策に基づく徹底した指導の実践						
		4 個別指導の充実と計画的な課題・週末課題による学習内容の定着を図るとともに弱点補強						
		5 読書活動の充実						
徳育	心の教育の充実	6 道徳の時間の計画的実施と西諸人権教育を通じた家庭との連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校評価で「思いやりがあり、礼儀正しく育っている」の項目で85%以上が評価する。 ○ いじめ・不登校 0 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな「いじめ」は、発生していない。 ○ 不登校に関しては、現在は0名であるが、家庭との連携が必要な生徒もいるので、常に連絡を取り合っている。 ○ 思いやりがあり、礼儀正しく行動できていると回答した生徒は、82%であった。 ○ 道徳は、各学年とも毎週実施し、学級通信や西諸人権教育を通して、家庭とも情報を共有している。 ○ 各種体験活動はほぼ計画通りに実施できている。 ○ 教育相談は計画通りに実施している。 	3.3	3.5	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校がないのは安心。 ○ いじめがないのは、きりしま支援学校があるおかげとも思います。生徒たちが大変心の優しい思いやりのある人に育っていると思います。このまま成長されることを願っています。 ○ 「いじめ」「不登校」については、学校と家庭の連携が必要であるため、今後も連携をとって防止に努めていたきたい。 ○ 心の教育で思いやりのある人間、礼儀正しい人間を育てて欲しいと願っています。
		7 体験活動とおとした「心の教育」の充実 ※ 福祉体験、ABC運動、高齢者への花作り、東方輪太鼓の伝承等						
		8 教育相談の充実 ※ 年間3回「教育相談週間」の実施、チャンス相談も積極的に実施						
体育	体力の向上	9 授業をとおして生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新体力テスト・・・前年度比2ポイントアップ ○ 各種検診結果を受けての治療率を85% 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2・3年生（32名）の体力テストにおいて、B判定以上の生徒は、昨年の25名から29名に上がっている。 ○ 「体育的行事の満足度」は生徒92%、保護者86%が良い評価となっており、充実した内容となった。次年度も継続して実施したい。 ○ 部活動に関する項目では、生徒は88%が満足しているものの、保護者は67%にとどまった。生徒数の減少や社会体育競技で活動している生徒も多く、今後の部活動の運営の在り方が課題である。 ○ 虫歯の治療率は、16人中13人（81%）で残りの3人に促していきたい。 	3.1	3.2	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 虫歯治療は是非やってもらいたい。○部活動等生徒数が少ないため課題も多いと思うが体力検査結果もよく可能性を秘めた生徒が多く育っていることは素晴らしいと思う。 ○ 各種検査結果受けての治療率85%とありますが、自分の健康に気をつけて体をいたわって欲しいと思います。 ○ 今年度は体力テストの成績が良好であったため、今後も先生方及び生徒たちも努力していただきたい。 ○ 体も心も変化する時期なので健康な体を作る必要性を教えて欲しい。
		10 体力テストを分析し、その結果を受けた毎時間の「体づくり運動」の実施						
		11 体育的行事等の充実 ※ 三校合同大運動会、部活動他						
		12 自己管理力の推進や立腰指導の徹底						
食育	食育の充実	13 食育便りの発行 ※ 月1回発行、年2回小中合同食育便りの発行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食育便りの月1回、三校合同便り年2回100%実施 ○ 食育指導の推進の評価95% ○ 給食の残食量1%以下を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食育便りや保健だよりを毎月発行し、食育の充実を図っている。 ○ 小中合同の食育便りを発行した。 ○ 生徒の手作り弁当の日を現在まで2回計画した。 ○ 「食の贈り物in夏休み」を今年度も実施した。生徒、保護者ともに食育に関して90%以上の良い評価を得た。この取組に関する保護者の満足度が高い。 ○ 給食を全校生徒が楽しみにしており、全学年毎日完食している。残食量1%以下を達成している。 	3.7	3.4	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食の完食は作る人たちも、はり合い強く感じられます。 ○ 体を作るための食育の必要性を教えて欲しい。 ○ 給食を楽しむに於いて残食が少ないのは大変良いことと思う。今後も残食0を目指して欲しい。また、食育指導の充実度も高評価を得ていることは素晴らしいと思う。 ○ 給食については完食しており、引き続き食の有難さを感じる環境づくりに努めていたきたい。
		14 お弁当の日の実施・・・年間2回以上						
		15 「食の贈り物in夏休み」の実施 ※ 夏休みの課題として実施						
		16 正しい食生活の理解拡大						
その他	信頼される学校づくり	17 学校と家庭・地域の連携 ※ チャンスをとらえた学校便り、学級通信等の発行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参観日、学級懇談の内容の充実の項目90%以上 ○ 職員のPTA行事への参加の項目90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に学校だよりや学級通信などを発行し、家庭との連携を図っているが、発行に差がみられる。学校便りやPTA新聞を発行は地域にも回覧して情報公開を推進している。 ○ 学校ホームページを常に更新している。生徒の活動の様子がよくわかるように写真等を多く掲載して、充実を図っている。 ○ 参観率は、85%以上の参観率、内容についても97%の保護者から高評価を得ている。 ○ 熊野神社祭、陰陽石祭、こばやし秋祭等に生徒や職員が積極的に参加した。生徒や保護者から90%以上の良い評価を得た。 	3.7	3.4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の方の頑張り強く感じられます。 ○ よりよい参観日、学級懇談の内容を計画し、参観率をさらに上げるよう努めていたきたい。祭り等の積極的な参加に對しまして感謝しております。 ○ 地域の高齢者にとっては学校だよりで、写真を見て知る点が多いようです。 ○ 学校新聞やPTA新聞が回覧で廻り学校のことが準会員家庭にもよく分かり地域の方の理解・協力も得やすいと思う。できれば発行日を13日ごろか28日ぐらいにしてもらえると小林市の回覧板と一緒に配布できるので助かります。
		18 参観日・学級懇談の充実						
		19 職員のPTA主催事業と地域行事への協力と積極的参加						
		20 学校運営協議会の充実 ※ 年間3回実施						

次年度の方向性についての校長所見	<p>(1) 知育 = 学力の向上・・・ ICTを積極的に活用し指導力を向上させる。小中合同研修を柱に、主題研究を進め「学力向上のためのICT活用の在り方」を継続して研究する。教師の授業力向上を図るために、一人年1回の研究授業を実践し、わかる授業の構築に努める。</p> <p>(2) 徳育 = 豊かな心の育成・・・ 「ABC運動」を中心とした豊かな体験活動を計画的に実施し、「私たちの道徳」を活用した道徳教育の充実を図るとともに、道徳の教科化を見据えた準備をしっかりと行う。人権教育の充実を図り、「いじめ0」「不登校0」の楽しく、充実した学校づくりに全力を尽くす。</p> <p>(3) 体育 = 体力の向上・・・ 新体力テスト結果を分析し、体育の授業、体育的行事、部活動を通して、意図的、計画的に体力の向上を図り、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育成する。</p> <p>(4) 食育 = 食育の充実・・・ 家庭科の授業や給食活動を通じた食に関する指導の充実を図り、「弁当の日」などの取組を通して、家庭や地域と連携しながら食育指導を積極的に推進する。</p> <p>(5) その他 = 信頼される学校づくり・・・ 学校の教育活動を広く公開するとともに、職員の地域行事・PTA行事への積極的な参加を継続する。定期的な学校便りの発行や学校運営協議会とおして、地域の人たちに学校の教育活動を知ってもらい、家庭や地域の願いを十分に受け止めた開かれた学校づくりに努める。地域の伝統・文化の伝承に努める。</p>
------------------	---